



ホーム | アーカイブ | サイトマップ | アルバム | 検索 | プロフィール

ミネアポリス・リアルライフ

ホーム > アーカイブ > 2013年10月

カレンダー

< 2014年01月 >

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

カテゴリー

- ショッピング(47)
- シアター(28)
- ライフスタイル(63)
- カルチャー(28) NEW
- アート(36)
- 観光(32)
- ミュージアム(19)
- フード(75)
- イベント(46)
- ミュージック(33) NEW
- アクティビティ(26)
- スポーツ(19)
- メジャーリーグ(14)
- ホテル&リゾート(12) NEW
- ネイチャー(10)

アーカイブ

- 2014年01月(10)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(6)
- 2013年10月(6)
- 2013年09月(4)
- 2013年04月(10)
- 2013年03月(8)
- 2013年02月(11)

2013年10月

美術館に展示されている有名デザイナーの靴。



ミネアポリス美術館に最近フランス人の知り合いを案内してきました。美術館に勤める友人のTさんは、ネイティブ・アメリカンのモヒカン族の血を引いていて、彼女の顔つきを見ると「確かに」と納得する鼻筋の通った頬骨の高いモヒカン族特有の造作が分かりません。

そんなTさんが特別に館内の一画に設けられたネイティブ・アメリカンのアートを展示したギャラリーをツアーしてくれました。ミネソタの部族だけでなく、アメリカの他の部族の文化を知ることができる伝統衣装や装飾品の他、ネイティブ・アメリカンのアーティストによる現代アートも展示されています。

その中で、ガラスの展示ケースの中に何気なく飾られている、ネイティブ・アメリカン独特のビーズ細工を施した高いヒールの靴が眼につきました。フランス人の知り合いと「これは今のネイティブ・アメリカンのファッションにしては、ちょっとファンキー過ぎる」と話していたら、Tさんが、「これ、フランスの有名なシューデザイナーとネイティブ・アメリカンのコラボレーションよ」と言うではありませんか。説明を読んでみると何と、この靴、あの人気のデザイナー、クリスチャン・ルブタンとのデザインということ！赤い靴の裏

で知られるルブタンのデザインとネイティブ・アメリカンのアーティストのビーズやナチュラル素材を用いたクラフトマンシップで作られた靴。

実際に履けるのかどうか分かりませんが、面白い展示です。伝統的な展示品と、こうした意表をつくコレクションがツアーをととても楽しくしてくれました。ぜひ、一度ご覧ください。

www.artsmia.org

投稿者 Husky15 18日 06:47 | コメント(0) | アート

ミネアポリス美術館の日本美術コレクション。

アメリカ情報サイトLink-USA

アメリカの最新情報サイト



魅力的なアメリカの地、素晴らしい旅へのご案内

検索

詳細 一覧

検索

サイトマップ

お知らせ通知登録

メールアドレスを入力して登録ボタンを押してください。このブログの最新記事をもメールでお届けします。

お知らせ通知登録:

登録

[解除はこちら]

最近のコメント

今朝 8 6 回アカデミー賞の... NEW (husky15)

2014年1月17日 00:38

コメントいただいたのに返... (Husky15)

2014年1月10日 03:15

ぜひ、またお越し下さいね... (Husky15)

2013年01月(11)
 2012年12月(11)
 2012年11月(5)
 2012年10月(14)
 2012年09月(13)
 2012年08月(15)
 2012年06月(16)
 2012年04月(1)
 2012年03月(15)
 2012年02月(4)
 2012年01月(8)
 2011年12月(9)
 2011年11月(11)
 2011年10月(5)
 2011年09月(9)
 2011年08月(2)
 2011年07月(11)
 2011年06月(13)
 2011年05月(6)
 2011年04月(2)
 2011年03月(7)
 2011年02月(12)
 2011年01月(9)
 2010年12月(10)
 2010年11月(10)
 2010年10月(5)
 2010年09月(9)
 2010年08月(13)
 2010年07月(6)
 2010年06月(14)
 2010年05月(1)
 2010年04月(2)
 2010年03月(6)
 2010年02月(5)
 2010年01月(1)
 2009年12月(8)
 2009年11月(10)
 2009年10月(10)
 2009年09月(3)
 2009年08月(3)
 2009年07月(2)
 2009年06月(2)
 2009年04月(2)
 2009年03月(1)
 2009年02月(6)
 2009年01月(8)
 2008年12月(5)
 2008年10月(1)
 2008年08月(2)
 2008年05月(3)
 2008年04月(4)
 2008年03月(8)



以前ミネアポリス美術館の日本美術コレクションの中でも浮世絵のコレクションは世界的にその保存の良さも含め非常に有名であるとお話したと思います。

先頃アート界で話題になったのは、西海岸に本拠を置く有数の個人所蔵日本美術コレクションであるクラーク・コレクション約1700点がミネアポリス美術館に寄贈されたというニュースでした。クラーク財団のコレクションは日本でも公開されたことのある、非常に優れたコレクションです。所有者のビル・クラーク氏は80歳を過ぎて尚、元気にオークションや実際に日本のアーティストなどを訪ね、現在も収集に熱心だということです。

このクラーク・コレクションが加わったことで、ミネアポリス美術館のアジア美術コレクションは国内最大、最高のクオリティを誇るものになりました。

クラーク・コレクションと共にミネアポリス美術館にやってきたのは、財団でキュレーターを務めてきたアンドレアス・マーカス氏。コレクションと一緒にミネアポリスに引っ越してこられました。現在もクラーク財団にも関わっている氏は、非常に多忙な中、早速今月から「The Audacious Eye - Japanese Art From The Clark Collections」という展覧会を企画開催しました。

新しく加わったクラーク・コレクションの中から約100点を紹介するこの特別展は、クリスティのオークションで競り落とした柴田是真のマスターワークの屏風絵など14世紀から年代ごとに展示し、また現代陶芸家の斬新な作品数点も交えた素晴らしい展覧会です。

「11月にもクラークさんと日本へ行くんですよ」と言うマーカス氏は新しいコレクションとこれまでのコレクションを合わせ、今後頻りに展示を更新して行くとおっしゃっていました。（「全部を展示するだけのスペースがないですよ」と訊いた私に答えてのお言葉でした。）

ミネアポリス美術館の日本美術コレクション、これからの展示もとても楽しみです。

「The Audacious Eye - クラーク財団コレクションの日本美術展」は来年1月12日まで。期間中コミックや習字など様々な日本文化を紹介するイベントも行われます。

www.artsmia.org

投稿者 Husky15 15日 07:09 | コメント(0) | ミュージアム

モール・オブ・アメリカで体験型ツアーを体験する。



ミネアポリスで新しく始まる体験型ツアーのプログラムが着々と準備されています。友人Bに頼まれて、その一つであるレストランでのワイン・テースティングとシェフの実演のコースに参加することになりました。

モール・オブ・アメリカの中にあるレストラン「ナパバレー・グリル」はショッピングモールにあるからといって侮れない、なかなかワインや食事の美味しいレストランです。

ここでのワイン・テースティングは、シェフの料理の実演があり、そのメニューをサカナにワインを試飲する趣向です。メニューは5コースでもそれぞれが食べやすい量になっ

2014年1月10日 03:14

楽しそうです！行って見...
(中村紀子)

2014年1月9日 18:57

なんと！徒歩圏に住んで居... (miyakou)

2013年12月7日 04:24

ホテルはtowneplace down... (もも)

2013年12月3日 11:33

ももさん、こんにちは。
お... (Husky15)

2013年12月3日 06:34

こんにちは！実は今週末に... (もも)

2013年12月2日 14:17

今夏は数回アイスクリーム... (Husky15)

2013年10月4日 22:58

ココはイイですよ。IZZY... (miyakou)

2013年10月4日 03:27

2008年02月(3)
 2008年01月(6)
 2007年12月(7)
 2007年11月(3)
 2007年10月(10)
 2007年09月(7)
 2007年08月(9)
 2007年07月(7)
 2007年06月(5)
 2007年05月(1)
 2007年04月(2)
 2007年03月(1)

最近の記事

ミネソタ管弦楽団のコンサートがとうとう始まりま
 す！ 1月18日 **NEW**
 「世界のベストホテル」の
 常連、セントポール・ホテル。1月16日 **NEW**
 ミネアポリスのソマリア移
 民。1月15日 **NEW**
 ミネアポリスの新進映画ス
 タア。1月14日 **NEW**
 メトロドームよ、さようなら。
 1月11日
 ミネソタの星、高田選手を
 応援しよう！ 1月10日
 モール・オブ・アメリカで
 冬を忘れる。1月9日
 今年のミネソタの冬。1月
 8日
 お洒落なウェアハウスディ
 ストリクトのレストラン
 へ。1月4日
 2013年と光りのパレード
 にさようなら。1月3日

プロフィール



Husky15
 性別 女性
 ミシシッピ河畔の中都市ミ
 ネアポリス在住20年目で

ています。(アメリカは一皿の量が多くてと恐れていたんですが。)

この日も前菜から魚料理、肉料理まで目の前でシェフが実演してくれる
 中、選ばれたワインを試飲。ランチなのにたっぷりワインを楽しんでしま
 いました。

同じテーブルになった人たちと、食事の味やワインのことを話すのも楽し
 く、こうしたツアーなら大歓迎です。

投稿者 Husky15 10日 07:13 | コメント(0) | イベント

グレートリバーロード75周年



先日ミネソタ州観光局の人と話
 をして、改めてミシシッピ河
 がミネソタ州の歴史や文化にいか
 に大きな影響を与えてきたかを考
 えさせられました。今年はミネソ
 タ州内を源流のアイタスカ湖から
 アイオワ州境まで続くグレートリ
 バーロードと呼ばれる国定景観道
 路(ナショナル・シーニック・バ
 イウェイ)に認定されてから、
 75周年を迎えました。575マ
 イル(約925キロ)に渡って、
 ミシシッピ河にそって走る道路

は、途中、美しい景観だけでなく、様々な物語を生んできました。

勿論4千キロ、世界四大河川の一つとしてメキシコ湾まで続く河の源流が
 あるミネソタ州ですが、唯一歩いて渡れる、そして森林と湖という大自然の
 中のミシシッピ河の姿を見ることができるのも特徴です。

河畔の町々には、往年の女優ジュディ・ガーランドが生まれたグランド・
 ラピッド、チャールズ・リンドバーグの生まれ育ったリトル・フォールズな
 どがある他、バイウェイの一部であるハイウェイ61はミネソタが生んだ
 ミュージシャン、ボブ・ディランの歌にも歌われた道です。

私は秋などグレートリバーロードの南のコースであるレッドウィング、レ
 イクシティ、ウイノナなどを通る道路をドライブするのが好きです。河岸の
 丘陵が色づく季節です。源流からアイオワ州境のラ・クレセントまでドラ
 イブすると多分8時間くらいかかるでしょうか。でも一度一気にコースを辿
 る旅をしてみたいと思います。

www.mnmississippiriver.com

投稿者 Husky15 10日 06:28 | コメント(0) | 観光

メトロドームを活かす。

す。春から秋の季節の美しさが好きで、冬の寒さを許すことにしています。アメリカというとマスコミやメディアが紹介するものだけのイメージが行き渡っていて、残念です。もっと身近でハートウォーミングなアメリカを知って欲しいとも思っています。

[エントリーの作成・編集]

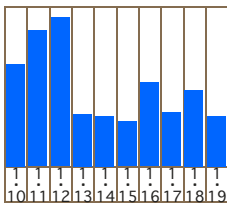
リンク

ミネアポリス市・会議観光局
Link-USA アメリカ情報サイト

QRコード



カウンター



総アクセス数：26,268件
(30日前～昨日までの総数)

RSS 2.0
RSS 1.0
ATOM 0.3
W3C XHTML1.0
W3C CSS



ミネソタ・バイキングスが9月の終わり、オープニング・ゲームをロンドンで行い、ピッツバーグ・スティーラーズと対戦しました。東京ドームのモデルとなったドーム・アリーナは、メジャーリーグのミネソタ・ツインズが新しい球場「ターゲット・フィールド」に本拠を移して以来、プロスポーツとしてはフットボールのホームゲームだけが行われるようになりました。

そして今そのフットボール・アリーナも新しいスタジアム建設の方向に動いており、すでに来シーズンからバイキングスはミネソタ大学のフットボール・スタジアムでプレーすることが決まっています。

2年前に雪の重みで屋根の一部が破れて雪が屋内に落ちたことは、日本でも報道されたのでご存知の方も多いでしょうね。建設されてから20年以上経ち、今やドーム型アリーナは屋根だけでなく人気も落ちたようです。

さて、今夏破れた屋根の一部を買い取った人たちが、サステナブルに利用できないかと考え、スペリオール湖岸の街ダールスにある地元ブランドの「ダールスパック」に依頼し、ドームの屋根の素材を再利用したトラベルバッグと女性用ハンドバッグを開発しました。製品はダールスパックのオンラインで購入できます。限定販売です。でも、こういうアイデアはいいですね。シンプルなデザインで、すっきりしたスタイルのバッグ。また屋根の素材だけあって丈夫で、ウォータープルーフです。

新しいスタジアムが建設されると無くなってしまふかもしれないメトロドーム。こういう記念のバッグで残すことになるのでしょうか。

投稿者 Husky15 9日 06:32 | コメント(0) | ライフスタイル

ウェアハウス・エリアに常設されたアート。



今夏、ミネアポリスのウェアハウス地区の一画にさりげなく設置された黒板。これがパブリックアートだと知ったのは、友人が教えてくれたからでした。結構有名なアートで世界中の街角で展開されていて、東京でも公開されたことがあったそうです。知らなかったな～。ちょっと「遅れている」気がしてがっくり。

「Before I die...」というこのパブリックアートのプロジェクトは、大きな黒板がビルの壁の一面などに設置され、何列もの「私が死ぬ前に」から始まる書き込みができるようになっています。そこにチョークで通りかかった人々が自分なりの希望や思いを綴ることができます。「私が死ぬ前に、誰かの命を救いたい」とか「恋をしたい」とか「多くのことを学びたい」など沢山の個人の思いが書かれています。キャンディ・チャンさんというアーティスト兼アーバンデザイナーが、ハリケーン惨事後のニューオーリンズで始めたもので、今ではアメリカだけでなく、ヨーロッパやアジアの各都市に広がり続けています。

ミネアポリスにはウェアハウス地区ともう一カ所の街角に設置されまし

た。通りかかる度に立ち止まって、それぞれの「私が死ぬ前に」したいことを読みました。落ち込んでいる時など、そこに書かれている希望や夢に励まされることもあって、こうしたパブリックアートが特に混乱する国々に広がって、メッセージになれば良いなと思ったのです。

<http://beforeidie.cc/site/about/>

投稿者 Husky15 4日 00:12 | コメント(0) | アート

Copyright (C) 2007-2008 Link-USA.jp All Rights Reserved.